

機関番号：11301

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2008～2010

課題番号：20380123

研究課題名（和文） 地域環境ビジネスの創出に必要な社会システムの構築主体の形成に関する研究

研究課題名（英文） A study on establishment of main organizations which engage in creating a regional environmental eco-business

研究代表者 両角 和夫（MOROZUMI KAZUO）

東北大学・大学院農学研究科・教授

研究者番号：30312622

研究成果の概要（和文）：本研究では、①木質バイオマスとしいの間伐材を利用した木炭発電が、間伐の促進により自然生態系を維持・修復すること、②木炭発電が社会システムの導入によって環境ビジネスとして実現でき、③農協、地方企業による組織が環境ビジネスの創出の主体となりうること、④地域環境ビジネスは、地域経済の活性化に寄与すること等を解明した。

研究成果の概要（英文）：①The charcoal power generation using the thinning material as wood biomass promotes the hydrological cycle of the forest and the river by promoting the thinning and restores the natural ecosystem. ② The new regional environmental eco-business can be realized by using the green electric power bond system. ③The organization by agricultural cooperative and local enterprises can become the subject of the creation of regional environmental eco-business from the analysis of the case such as Rikuzentakata City. ④ Regional environmental eco-business contributes to the revitalization of the rural economy.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	5,100,000	1,530,000	6,630,000
2009年度	4,800,000	1,440,000	6,240,000
2010年度	4,900,000	1,470,000	6,370,000
年度			
年度			
総計	14,800,000	4,440,000	19,240,000

研究分野：農業経済学

科研費の分科・細目：農業経済学・農業経済学

キーワード：地域環境ビジネス、社会システム、主体の形成、自然資本の維持修復、木質バイオマス、

1. 研究開始当初の背景

近年の農村地域社会は、二つの問題に直面している。一つは、自然生態系の悪化などの環境問題、もう一つは、地域経済の不振である。このため、自然生態系の修復・保全をビジネスとして実施できれば地域経済の振興に繋がり、二つの問題を一体的に解決することがぜひとも必要である。

2. 研究の目的

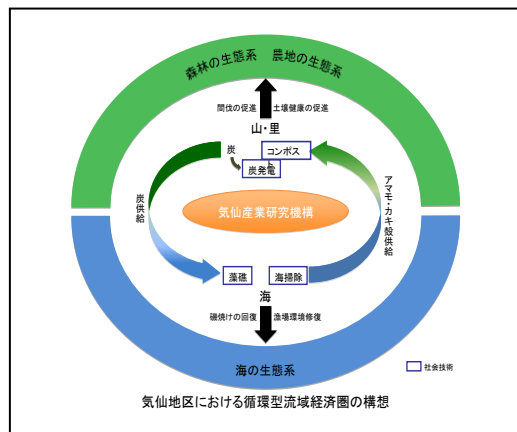
研究の目的は、第一は、地域環境ビジネスの創出のために必要な社会システムの構築・運営のあり方、およびそれを中心的に担う主体の形成に関する問題・課題の整理、第二は、地球環境ビジネスモデルの可能性の検討とこれが自然環境の維持・修復等に及ぼす影響の分析である。

3. 研究の方法

地域環境ビジネスとしての間伐材を利用した木炭発電の環境保全・修復の効果等の分析、および環境ビジネスに必要な社会システムの在り方、地域環境ビジネスに対する地域住民意向の把握、環境ビジネスの創出に主体的に取り組む農協その他組織の実態把握などの調査、検討

4. 研究成果

一つは、木質バイオマスである間伐材を利用した木炭発電が、間伐の促進によって、森林と河川の水循環を促進して自然生態系を維持・修復すること、二つは、その一方でグリーン電力証書制度の利用によって新たなコストの社会化が可能になり環境ビジネスとして成り立つこと、三つは、陸前高田市などの事例の分析から、農協、地方企業、NPO等による組織が環境ビジネスの創出の主体となる可能性があること、四つは、地域環境ビジネスは、地域経済の活性化に寄与することを、分析した。



5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 18 件)

1. 両角和夫、地域環境ビジネスの創出に必要な社会システムの検討ー岩手県生田地区に於ける木炭発電の取り組みを事例にー、農業経済研究報告、査読無、42、2011、1-14
2. 黒川哲治、多収量米を原料としたバイオ燃料に対する地域住民の意識構造、経済学年誌、無、46、査読無、2011、79-95
3. 石井圭一、EUからみた直接支払制度のあり方、農業経済研究、査読無、82(4)、2011、270-276
4. 両角和夫、循環型流域経済圏の構築と地域環境ビジネスの創出ー木炭発電による地域環境ビジネスの試み、人と国土、査読無、36,2010、26-29
5. 市川哲也、酒井亨、両角和夫、鈴木輝明、広田湾における流れと水塊構造の数値シミュレーション、海洋理学工学会誌、査読有、Vol.15 No.2、2010、125-135
6. 西澤栄一郎、水環境保全のための経済的手法、水環境学会誌、査読有、第33卷(A)第2号、2010、179-201
7. 黒川哲治、環境教育の有無が支払い意思額に与える影響ー二段階二肢選択式CVMによる接近ー、経済学年史(法政大学大学院経済学研究科)、査読無、45号,2010、15-32
8. Hisashi Bannai, Tetsuo Oe、A New Phase in New Generation Cooperatives in Ethanol Production、Tohoku Journal of Agricultural Research、査読無、Vol.60 No.3-4、2010、91-105

- 9 平口嘉典、西橋俊、両角和夫、農山村地域の持続的発展に果たす集落組織の機能と役割—岩手県O地区を事例にして、東北農業経済研究報告、査読無、Vol.41、2010、49—68
10. Lin ZHOU, Ryuichi SHIGENO, Hisato SHUTO, Impact of Opportunity Cost of Women on Food Consumption in Households: Evidence from Fish and Meat Consumption in Selected Provinces of China、フードシステム研究、査読有、17、2010、213-221
11. 平口嘉典、農山村地域における第三セクターの新たな役割—生活サービス事業の展開をふまえて—、農業経営研究、査読有、48、2010、107-112
12. 平口嘉典・両角和夫、中山間地域における限界集落化抑止対策の検討—岩手県O地区における中山間地域等直接支払制度への対応と民俗芸能活動の展開から—、2010年度日本農業経済学会論文集、査読有、別巻2010、268—275
13. 市田知子、EU農政改革によるクロス・コンプライアンスの影響、圃場と土壌、査読無、42(4)、2010、7-16
14. 市田知子、書評 坪井伸弘・大内雅利・小田切徳美『現代のむら—むら論と日本社会の展望』、村落社会研究ジャーナル、査読無、17(1)、2010、59-59
15. Kazuo Morozumi, Daisuke Kunii, Kiyomi Wada, Integrated Regional Resource Management in the Kesen Cycle-Type River Basin Economic Zone – Restoration of the natural ecosystem and the business of charcoal power, Tohoku Journal of Agricultural Research、査読無、Vol.60 No.1-2、2009、1-12
16. 両角和夫、日本—バイオ燃料ブームと日本農業の選択、農業と経済、査読無、第74巻3号、2008、40-45
17. 西澤栄一郎、アメリカ—農家を支える三つの財政支援、週間エコノミスト、査読無、第86巻40号、2008、86
18. Tadasai Hasebe, Michiaki Omura, Hisashi Bannai, Rural Scenery Narrative and Field Experience, Tohoku Journal of Agricultural Research、査読無、Vol.58、No.3-4、2008、99-112
- [学会発表] (計 10 件)
1. 大江徹男、坂内久、アメリカにおけるバイオエタノールの生産拡大と支援策をめぐる現況について—エコカー開発を視野に入れて—、日本地域経済学会共通論題シンポジウム、2010年11月28日、岐阜経済大学
2. 平口嘉典、生活サービス事業を展開する第三セクターの経営分析と展開方向、日本農業経営学会、2010年9月19日、秋田県立大学
3. 大江徹男、坂内久、FS)の最終規則とバイオ燃料政策の方向性、国際経済学会関東支部大会、2010年7月17日、立教大学
4. Lin ZHOU, Ryuichi SHIGENO, Hisato SHUTO, Impact of Opportunity Cost of Women on Food Consumption in Households: Evidence from Fish and Meat Consumption in Selected Provinces of China、フードシステム学会、2010年6月13日、千葉大学、千葉市
5. 平口嘉典、両角和夫、中山間地域における限界集落抑止対策についての検討—岩手県O地区における中山間地域直接支払制度への対応と民俗芸能の展開から、日本農業経済学会、2010年3月28日、京都市
6. 長谷部正、安江紘幸、平口嘉典、農村における新たな現象としてのギャル祭—ジャスコ化する身体との関連、日本環境共生学会、2009年9月20日、つくば市
7. 平口嘉典、第三セクターによるコミ

ユニティ・ビジネス創出の可能性－山形県西川町総合開発株式会社を事例にして－、日本農業経営学会、2009年9月19日、明治大学、東京都

8. 矢吹悟、松八重（横山）一代、長坂徹也、東北地方多地域間廃棄物産業連関表を用いた畜産廃棄物再資源化のシナリオ、環太平洋産業連関学会、2008年11月15-16、山口大学、山口県
9. Yoshinori Hiraguchi, A Study on Entrepreneurship and Industrial Development In Mountain Villages :Lessons from the Prewar OIDE Filature Experience in Japan,2008 International Research Meeting on Resource and Environmental Economics、Oct 17,18, 2008、Tohoku University, Sendai, Japan
10. 平口嘉典、山村地域における産業の発展条件に関する研究－戦前期岩手県気仙郡生田製糸場を事例にして－、東北農業経済学会、2008年9月6日、新潟大学農学部、新潟県

[図書] (計6件)

1. 両角和夫、筑波書房、コメ・エタノール燃料と政策の課題－「地域資源としてのコメという観点」から、矢部光保・両角和夫編著『コメのバイオ燃料化と地域振興－エネルギー・食料・環境問題への挑戦』、2010、15-39
2. 石井圭一、フランスにおけるバイオエタノール生産の現状と課題－小麦原料を中心に－、矢部光保・両角和夫編著『コメのバイオ燃料化と地域振興－エネルギー・食料・環境問題への挑戦』、2010、155-178
3. 西澤栄一郎、筑波書房、コメ・エタノール燃料と政策の課題－「地域資源

としてのコメという観点」から、矢部光保・両角和夫編著『コメのバイオ燃料化と地域振興－エネルギー・食料・環境問題への挑戦』、2010、179-201

4. 石井圭一、多賀出版、現代フランス農村にみる補完性原理－オートマルヌ県バル・デ・ティル村の事例分析、佐藤勝則編著『比較連邦制史研究』、2010、265-294
5. 両角和夫編、東北大学大学院農学研究科、循環型流域経済圏の構想と地域資源利用の統合的マネジメントに関する研究、2010、1-90
6. 両角和夫編、東北大学大学院農学研究科、岩手県気仙地区における木質バイオマスエネルギーの利活用に関する研究、2009、1-36

[産業財産権]

○出願状況 (計 件)
なし

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況 (計◇件)
なし

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]

ホームページ等

6. 研究組織
(1) 研究代表者
両角 和夫 (MOROZUMI KAZUO)
東北大学・大学院農学研究科・教授
研究者番号：30312622

(2)研究分担者

石井 圭一 (ISHII KEEICHI)

東北大学・大学院農学研究科・准教授

研究者番号：20356322

茂野 隆一 (SHIGENO RYUICHI)

筑波大学・大学院生命環境科学研究科・教授

研究者番号:60292512

川村 保 (KAWAMURA TAMOTSU)

宮城大学・食産業学部・教授

研究者場番号：20177736

(3)連携研究者

合田 素行 (GODA MOTOYUKI)

茨城大学・農学部・教授

研究者番号：40134457

市田 知子 (ICHIDA TOMOKO)

明治大学・農学部・准教授

研究者番号:00356304

西澤 栄一郎 (NISHIZAWA EIICHIRO)

法政大学・経済学部・教授

研究者番号:30328900